

宝の都(くに)・大崎の実現に向けて

平成21年度の主な事業

施政方針より抜粋



施政方針を述べる伊藤市長

平成21年第1回大崎市議会定例会の初日、伊藤市長は『100年に1度といわれる不況を踏まえ、全力で景気・雇用対策を講じてまいります。また、合併4年目の節目を迎え、本市の将来像である「宝の都(くに)・大崎」の実現に向け、「二兎を追って二兎を得る」大崎市流の改革を推進するとともに、「天地人」の教えのとおり、14万市民が心を一つにさらなる躍進への歩みを進めてまいります・・・』と施政方針を述べました。

今回は、施政方針から平成21年度の主な事業をお知らせします。

■二十万都市戦略
二地域居住や移住を促進するため、各種団体、地域住民などの理解と協力をいただきながら、地域の受け皿づくりを進めるとともに、市の知名度アップを図ってまいります。また、セントラル自動車をはじめ、県内進出企業の社員の方に移住していただけるよう、引き続き、官民一体となつて定住促進に努めます。

■地域自治組織の強化および市民協働の推進
地域力の向上を目指し、地域の実情に応じた各種活動を支援してまいります。また、「パートナーシップ会議」については、本年度からの本格実施を目指し、協働による事業実施のプロセスの構築を進めてまいります。

■緊急景気・雇用対策
昨年十二月十日に「大崎市緊急景気・雇用対策本部」を設置し、経済対策や雇用の場の確保などについて、さまざまな対策を講じてきました。今後は、国の追加経済対策の受け入れ準備をはじめ、雇用機会の創出や住宅の確保などについて、引き続き、国・県ならびに関係機関などと連携を図りながら、全力で景気・雇用対策に取り組みます。

■三本PAスマートIC整備
昨年十二月に上下線とも工事着手し、早期に供用開始を進めてまいります。

■道路の整備
新市建設計画に掲げる環状道路や地域連携道路、市道新設改良などの整備を計画的に進めてまいります。

■行政改革
集中改革プランの最終年度であることから、これまで以上に取り組みを強化し、財政効果の実現に努めます。使用料・手数料の見直しは、住民票の写しの交付などの手数料の最小限の引き上げを予定しています。公民館などの使用料は、今回は改定を見送りました。

■岩手・宮城内陸地震の復旧状況
被災個所の本年三月末までの復旧を目指し、引き続き取り組んでいきます。また、市道鎌内線は県へ工事を委託しており、六月に復旧の予定です。

■公共交通システム
まちづくり協議会との意見交換や地域説明会などを開催しながら、本市の公共交通再編計画の策定方針を早急に取りまとめ、実施可能なものから順次取り組んでいきます。

■古川駅のバリアフリー化
本年度は、南口エスカレーター一基の整備を計画しており、十二月中の供用開始を目指し、事業を推進します。

公営企業会計の収入と支出のあらまし

企業会計で行う水道事業、病院事業は暮らしに欠かすことのできない大切なもので、市民の皆さんからいただいている水道料金や診療代金を主な財源として運営しています。

企業会計は、施設の維持管理など日常の営業活動に要する収入と支出を示す「収益的収支」と、施設の建設や改良などに要する収入と支出を示す「資本的収支」の2つに分かれています。

水道事業会計

【収益的収支】

収入	当初予算額	構成比
水道事業収益	37億5244万円	99.0%
営業収益	36億6230万円	96.6%
営業外収益	9014万円	2.4%
簡易水道事業収益	3877万円	1.0%
収入合計	37億9121万円	100.0%

支出

支出	当初予算額	構成比
水道事業費用	36億1087万円	98.2%
営業費用	33億2021万円	90.3%
営業外費用	2億5661万円	7.0%
特別損失	405万円	0.1%
予備費	3000万円	0.8%
簡易水道事業費用	6513万円	1.8%
支出合計	36億7600万円	100.0%

【資本的収支】

収入	当初予算額	構成比
水道事業資本的収入	6億5466万円	96.9%
企業債	4億9000万円	72.6%
負担金	1億1569万円	17.1%
補助金	3250万円	4.8%
他会計補助金	1027万円	1.5%
出資金	620万円	0.9%
簡易水道事業資本的収入	2076万円	3.1%
収入合計	6億7542万円	100.0%

支出

支出	当初予算額	構成比
水道事業資本的支出	16億9514万円	95.9%
建設改良費	10億7827万円	61.0%
企業債償還金	6億687万円	34.3%
予備費	1000万円	0.6%
簡易水道事業資本的支出	7248万円	4.1%
支出合計	17億6762万円	100.0%

病院事業会計

【収益的収支】

収入	当初予算額	構成比
病院事業収益	141億572万円	92.2%
医業収益	141億572万円	92.2%
医業外収益	10億6340万円	6.9%
特別利益	1億3710万円	0.9%
収入合計	153億622万円	100.0%

支出

支出	当初予算額	構成比
病院事業費用	149億3931万円	97.6%
医業費用	149億3931万円	97.6%
医業外費用	2億1706万円	1.4%
特別損失	1億3705万円	0.9%
予備費	1000万円	0.1%
支出合計	153億342万円	100.0%

【資本的収支】

収入	当初予算額	構成比
資本的収入	9億3760万円	54.0%
企業債	9億3760万円	54.0%
他会計出資金	5億4959万円	31.6%
他会計負担金	1億4445万円	8.3%
他会計補助金	1億654万円	6.1%
収入合計	17億3818万円	100.0%

支出

支出	当初予算額	構成比
資本的支出	21億6950万円	100.0%
建設改良費	13億9903万円	64.5%
企業債償還金	7億6047万円	35.0%
予備費	1000万円	0.5%
支出合計	21億6950万円	100.0%

平成21年度の主な建設改良事業(水道)

清水浄水場改良事業	3億4234万円
石綿セメント管更新事業	1億5500万円
老朽管更新事業	1億1200万円
配水管整備事業	7000万円
圧送式給水車購入事業	2590万円

平成21年度の主な建設改良事業(病院)

病院建設事業	9億7903万円
医療設備等整備事業	4億2000万円